

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

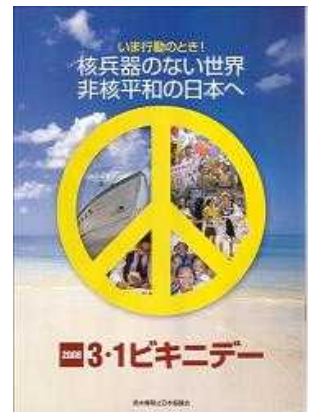
URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2008年1月9日 No.24

3・1  
パンフ

## 「良く分かる」と大好評

日本原水協が1月1日発行した2008年3・1ピキニデーパンフが、各地で好評を得ています。パンフを使った学習を草の根に広げ、3・1ピキニ代表派遣や諸活動推進の力にしていきましょう。

核兵器なくそう・世界青年のつどい準備委員会は1月8日、「つどい'08」第1回準備委員会をひらき、3・1ピキニデーパンフレットを使った学習を行いました。「核兵器廃絶に向けた世界の流れが良く分かった」、「核兵器に固執する勢力が孤立していることを知り、自分たちが第2のスーパーパワーなんだと確信した」、「日本がいかにアメリカのいいなりかを知り怒りが湧いた」など大好評。25部が普及されました。青年分野ではパンフを普及し学習会を積極的にとりこんでいこうと決意新たにしています。



表紙 (頒価 200 円)

## 6・9 新年からダッシュ!

**愛知**では、恒例ともなっている元旦行動を、県下の諸団体和被爆者によびかけ熱田神宮東門前にて行いました。2010年NPT再検討会議に向けた、核兵器廃絶キャンペーンの実質的スタートを切ることができました。原爆症認定集団訴訟原告の中村昭子さんはじめ、4人の被爆者・被爆2世などを先頭にした署名行動は、大変反応がよく、裁判の様子を話すと熱心に聞いてくれる方もみえました。24人の参加で、原爆症認定改定をめざす100万人署名86筆、「すみやか」署名121筆が熱田神宮の参拝者から寄せられました。



**静岡**では、市をはじめ毎年恒例となっている正月・元旦の被爆者援護・連帯募金活動が県内4カ所で取り組まれ、累計33人の参加で5万4384円を集約しました。御殿場浅間神社では、深夜0時から1時間、境内の入口に「原爆と人間展」パネルを十数枚展示して4人で募金を訴え、4386円が寄せられました。三島大社では、深夜0時から1時間半4人で募金を訴え、7204円。浜松五社神社でも、深夜0時から1時間、11人で募金を訴え、若い人の反応が良かったことに元気付けられながら2万2280円の被爆者募金を集約しました。静岡浅間神社では、元旦の正午から1時間、県原水協などが14人の参加で訴え、2万514円の募金が集まりました。

**大分**では、県・市原水協がすっかり元日の恒例行事となった「元日署名行動」を大分市内の春日神社入り口で行いました。署名呼びかけの反応はよく、家族ぐるみで積極的に応じる人や引き返してきて署名する人、帰省中の人もいて「住所が県外でもいいですか」と署名していく人など、1時間余りの行動で205筆の「すみやか」署名が寄せられました。

**山口**では岩国地域原水協が今津の八幡宮入口で、山口地域原水協が山口大神宮でそれぞれ恒例の元旦署名行動を行いました。岩国地域では、署名をしながら2月10日の市長選挙も話題になり、「なんとでも井原市長の再選をかちとろう」と話し合いになりました。両地域は6日にも今年最初の「6・9」行動を行い、2日間の合計で305筆の「すみやか」署名が寄せられました。岩国と宇部地域原水協は、13日に成人の日署名行動を計画しています。

**京都**では、6日、京都教職員組合女性部による963回目の清水寺6・9行動が行われました。37年にわたって行われているこの日の行動には、被爆者をはじめ京都原水協の加盟団体も合流、総勢42人による大宣伝署名行動となり、260筆の「すみやか」署名が寄せられました。新年最初の日曜日とあって、清水寺には家族連れ、若いカップル、外国人など大勢の観光客がぐりだし、次々と「すみやか」署名に応じ、署名者に手渡される「ばたばた折り鶴」は大好評でした。

